

令和5年10月19日
北海道運輸局
自動車技術安全部

大型車の車輪脱落事故防止街頭点検を実施します！

～ 冬用タイヤへの交換時期に多く発生する大型車の車輪脱落事故を防止します ～

冬用タイヤへの交換時期に大型車の車輪脱落事故が急増する傾向を踏まえ、国土交通省では令和5年10月1日から令和6年2月29日まで大型車の車輪脱落事故防止キャンペーンを全国的に展開し、車輪脱落事故を防止する取組を実施しています。

この一環として、北海道運輸局では関係団体※と連携して車輪脱落事故が散見される大型トラックを対象とした街頭点検を実施します。

【車輪脱落事故防止街頭点検実施概要】

日時：(苫小牧) 令和5年10月23日(月) 11時30分～13時
(札幌) 令和5年10月24日(火) 11時30分～13時

場所：苫小牧トラックステーション(苫小牧市ウトナイ北11丁目11-33)
札幌トラックステーション(札幌市厚別区厚別東5条1丁目1-2)

内容：大型トラックのホイール・ナットに緩みがないか点検するとともに、あわせて、運転手に対し啓発チラシ等を用いて車輪脱落事故防止にかかる周知啓発を行うほか、大型トラックのタイヤの状態の確認を行います。

※悪天候の場合は中止します。

取材につきましては、事前に別紙1取材申込書にてお申し込みください。

※関係団体(五十音順、敬称略)

一般社団法人日本自動車タイヤ協会北海道支部、公益社団法人北海道トラック協会

【令和4年度の大型車※の車輪脱落事故の発生状況】(詳細は別紙を参照)

※車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

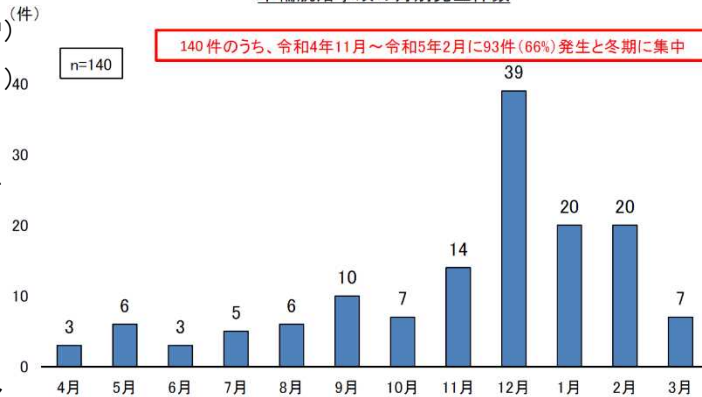
- ・全国の発生件数は140件(前年度比17件増)^(件)
- ・北海道の発生件数は17件(前年度比増減なし)⁴⁰
- ・冬期(11月～2月)に多く発生
- ・事故の半数は車輪脱着作業後1ヶ月以内に発生
- ・車輪脱落箇所は左後輪に集中

〈添付資料〉

別紙2 大型車の車輪脱落事故発生状況(令和4年度)

別紙3 車輪脱落事故防止のための啓発ポスター及びチラシ

車輪脱落事故の月別発生件数



〈問い合わせ先〉

北海道運輸局自動車技術安全部保安・環境調整官 関・吉田
TEL: 011-290-2754

北海道運輸局自動車技術安全部整備・保安課 吉田 行

メール : hkt-hokkaido-zh@ki.mlit.go.jp

大型車の車輪脱落事故防止街頭点検 取材申込書

日時 : (苫小牧) 令和5年10月23日(月) 11時30分~13時

(札幌) 令和5年10月24日(火) 11時30分~13時

場所 : 苫小牧トラックステーション(苫小牧市ウトナイ北11丁目11-33)

札幌トラックステーション(札幌市厚別区厚別東5条1丁目1-2)

貴社名

連絡先(代表者1名のみで構いません。)

氏名

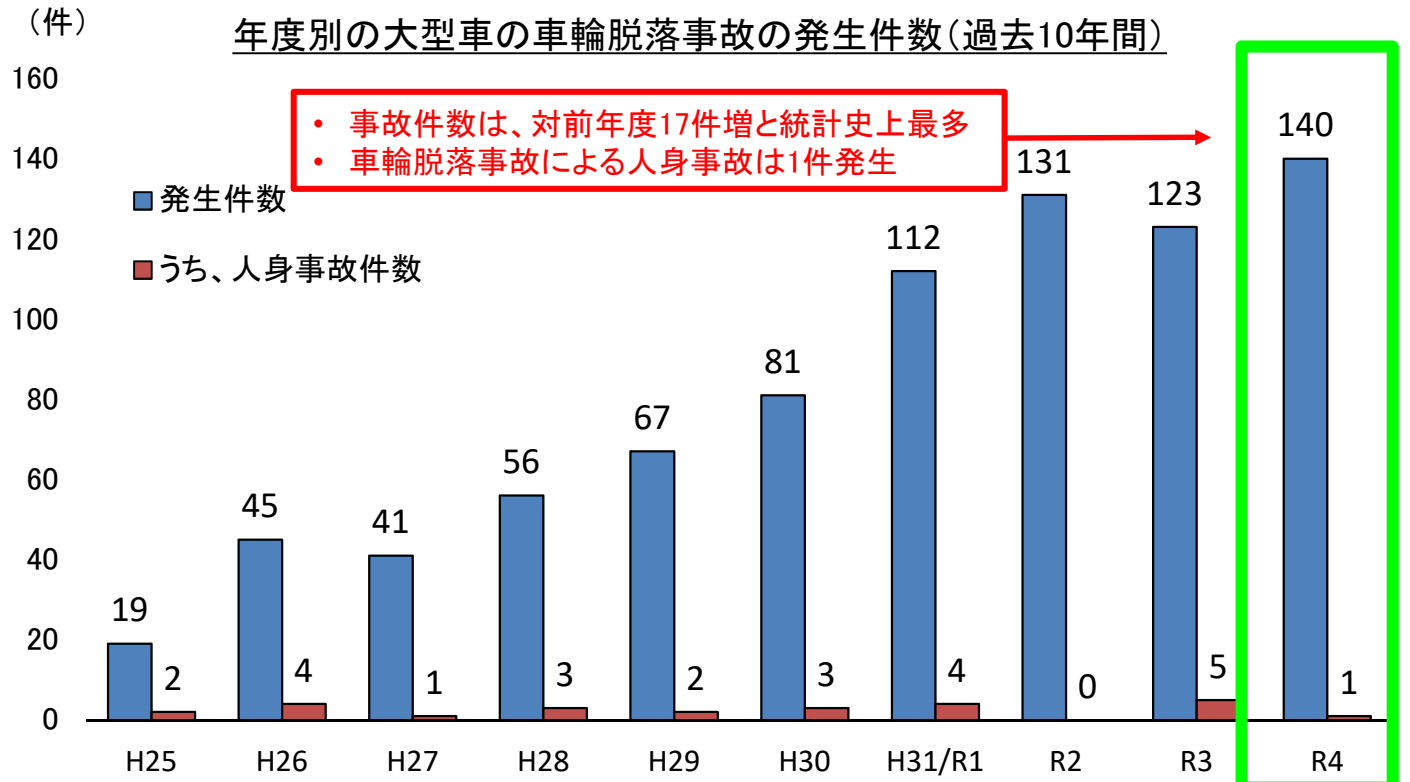
TEL

取材されるトラックステーションのをクリックしてチェックをお付けください。

苫小牧トラックステーション 札幌トラックステーション

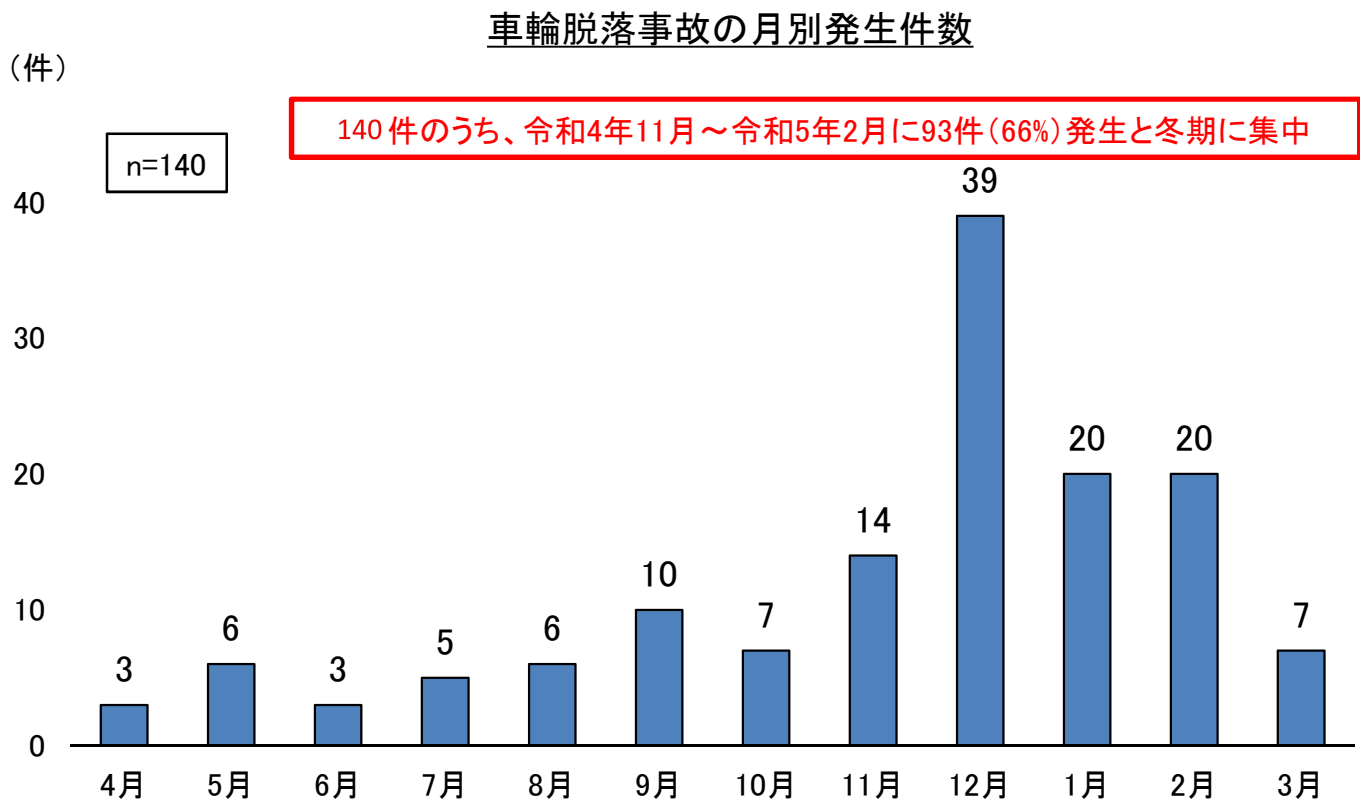
天候不良により中止する場合はお電話にてご連絡いたします。

車輪脱落事故発生状況（令和4年度）【別紙2】



※ 車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバスであって、ホイール・ナットの脱落又はホイール・ボルトの折損により、タイヤが脱落した事故

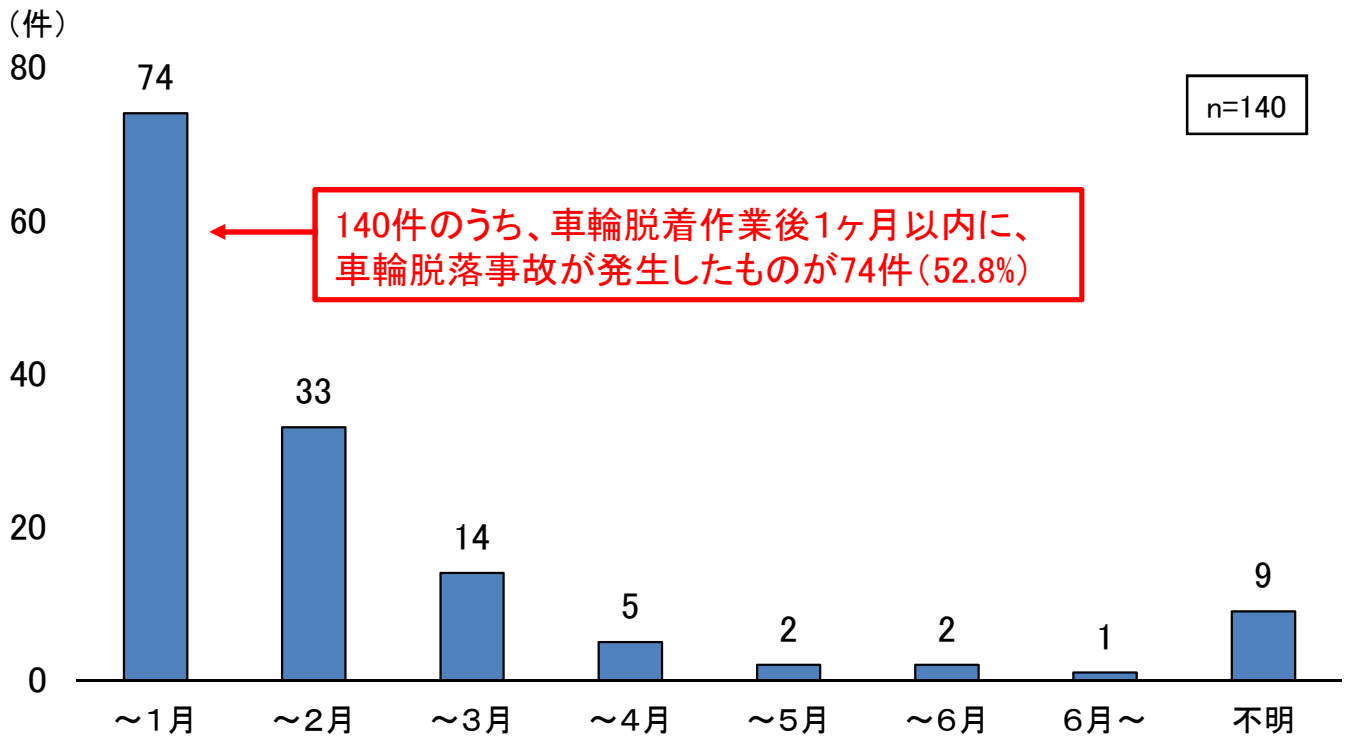
出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告



出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

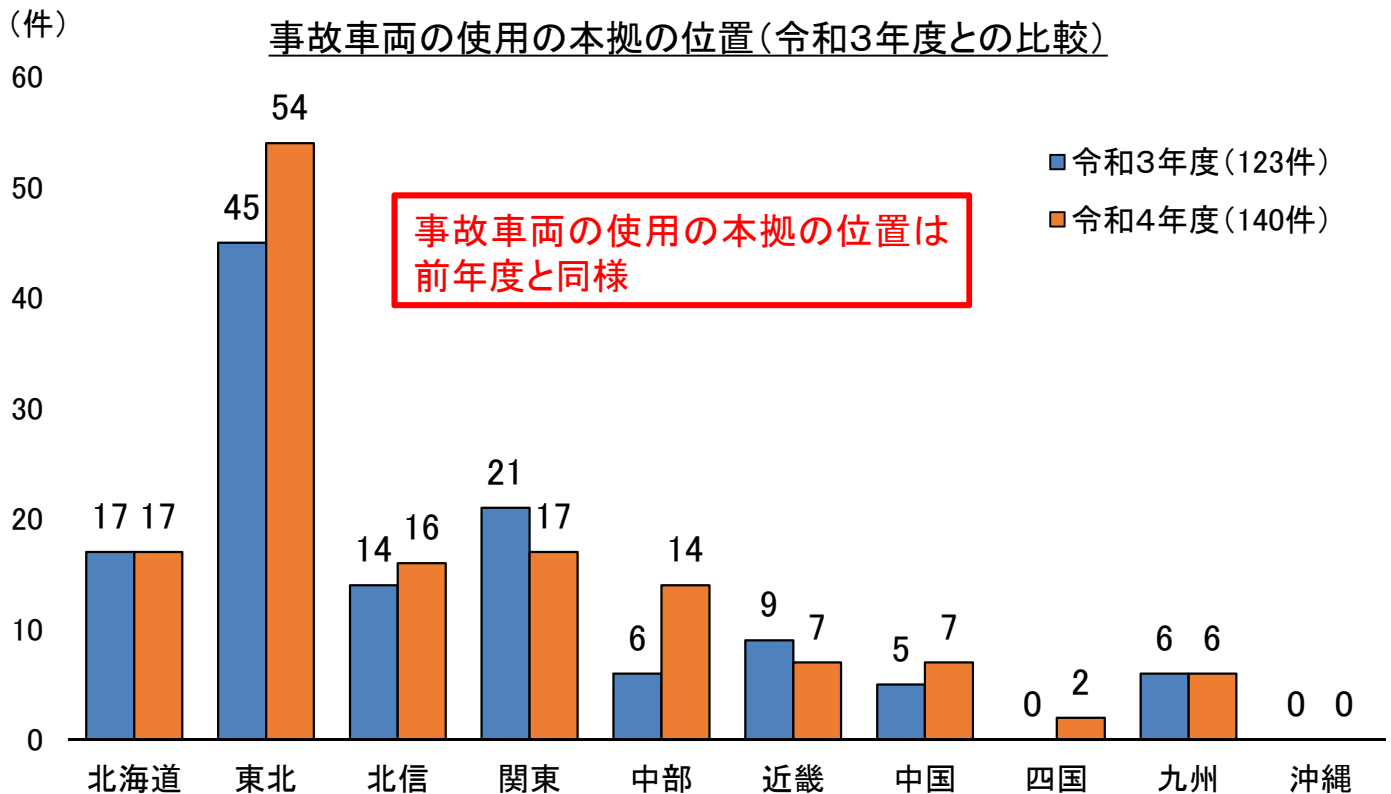
車輪脱落事故発生状況（令和4年度）

車輪脱着作業から車輪脱落事故発生までの期間



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

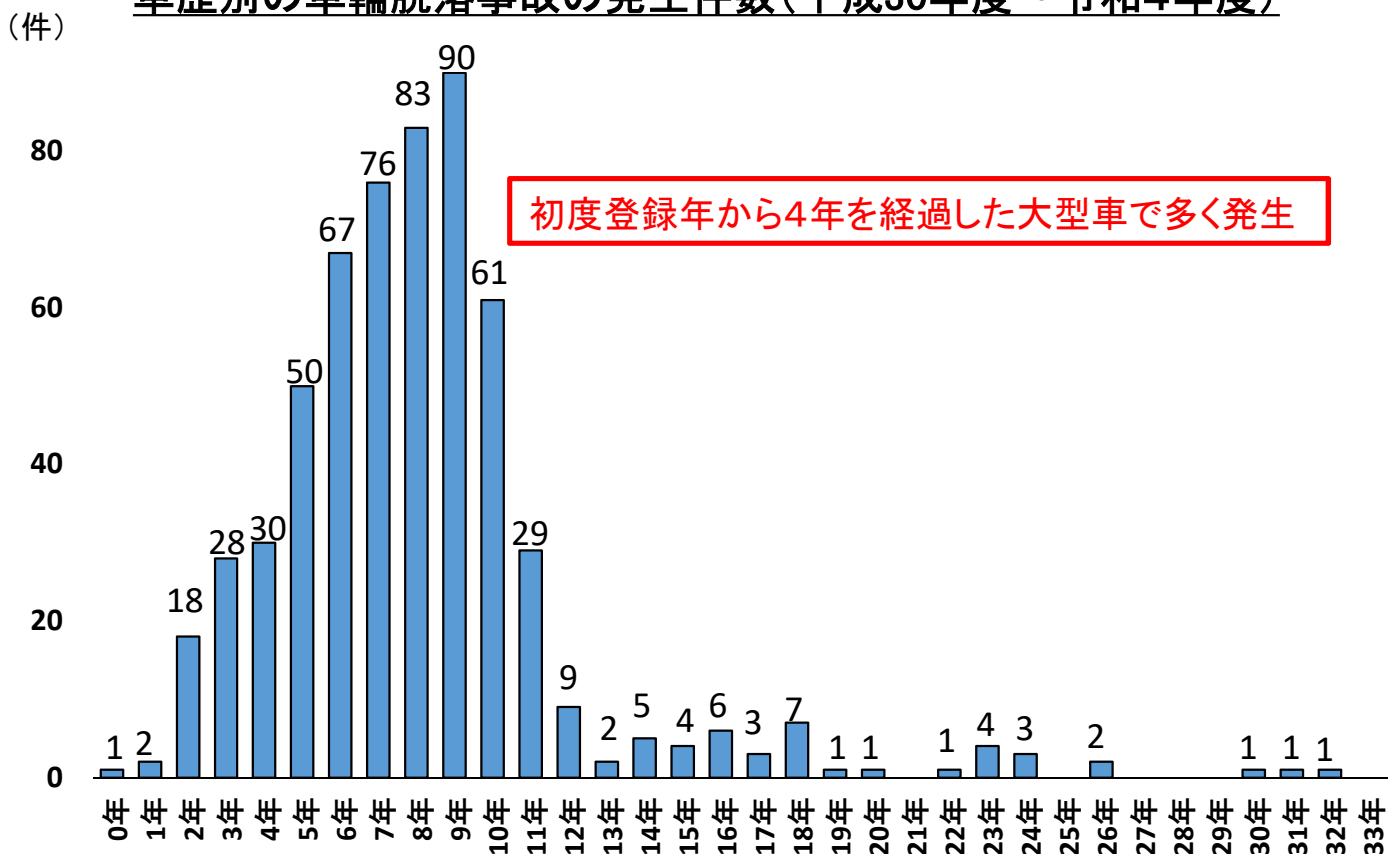
事故車両の使用の本拠の位置（令和3年度との比較）



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

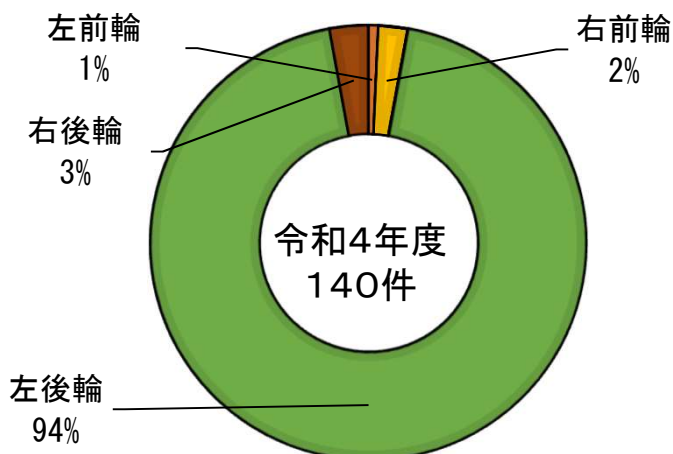
車輪脱落事故発生状況（令和4年度）

車歴別の車輪脱落事故の発生件数（平成30年度～令和4年度）



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

脱落した車輪位置

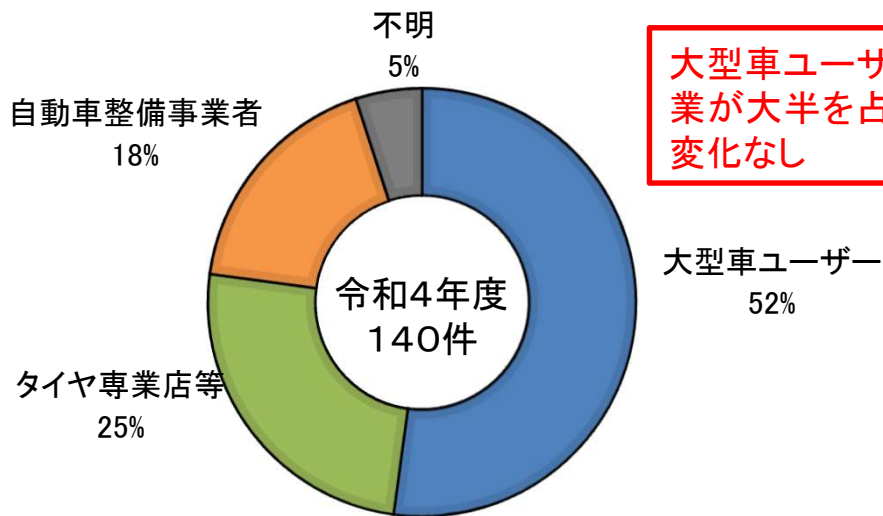


左後輪に集中する傾向は、
前年度と変化なし

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

車輪脱落事故発生状況（令和4年度）

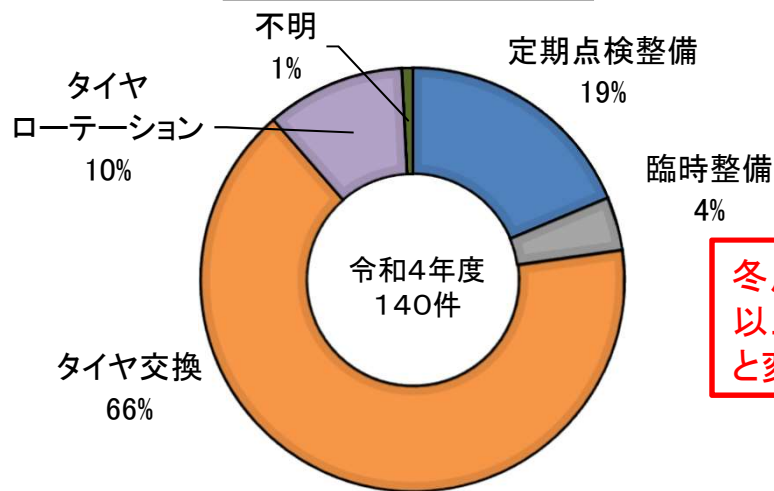
タイヤ脱着作業実施者別



大型車ユーザー自らのタイヤ脱着作業が大半を占める傾向は、前年度と変化なし

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

タイヤ脱着作業内容別



冬用タイヤ等への交換が半数以上を占める傾向は、前年度と変化なし

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

車輪脱落事故車両調査（令和4年度）

- 令和4年度発生した車輪脱落事故車両140台のうち136台に対して、各部品に劣化・損傷状態や、タイヤ脱着作業の実施状況を確認する事故車両調査を実施した。
- 事故車両調査の結果、
 - ・ホイール・ボルトやナットに著しいさびがあるものや、ゴミ等の異物が付着しているもの
 - ・ホイール・ナットとワッシャのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットがスムーズに回転しないもの 等、適切なタイヤ脱着作業が実施されていない車両が確認された。

事故車両調査により確認された各部品の劣化・損傷事例

著しいさびや汚れによる ホイール・ナット



（ホイール・ナット上面からはナット座面の状態が確認できない場合が多く、ワッシャーが固着しているものもある。）

ホイール・ボルトに 著しいさびや汚れ等の 付着



スムーズに回転しない ホイール・ナット



（ホイール・ナットとワッシャのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットとワッシャにガタが発生し、スムーズに回転しない。）

著しいさびによる ディスク・ホイールの損傷



（ディスク・ホールのボルト穴や、ホイール・ナットの当たり面に、著しいさびによる剥離や損傷が発生している。）



皆さん、ご存知でしたか？

大型車の車輪脱落事故の多くが、冬場、安全に走るためのタイヤ交換後に発生しているということ。

タイヤ交換時には、部品の錆や汚れをきちんと点検し、増し締めをしっかりと行うなど、適切に取り付けてください。

確実な点検・整備で、防げる事故があります。

「昨日も大丈夫だったから今日も大丈夫。」

その軽い気持ちで命を奪う

防ごう！大型車の車輪脱落事故 点検しよう！出発前の車両の安全

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

防ごう

大型車の

車輪脱落事故



危ない!



おと

おとさぬための 点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

動画をチェック!

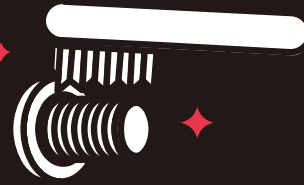
正しい点検方法や連結式ナット回転指示インジケーターの使用方法をご案内しています。



さ

さびたナットは 清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



な

ナット・ワッシャー 隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。

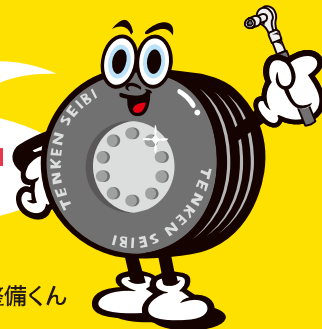


い

いちにち一度は 緩みの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見手で触って点検します。

「おとさ・ない」
を徹底しよう!



Mr. 整備くん



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、[車載の「取扱説明書」]や[本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ5つのポイント」]、
[下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」]などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

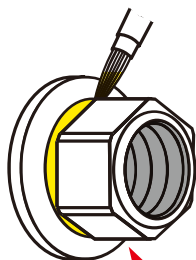
※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

注意 ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス (誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について **ISO方式**

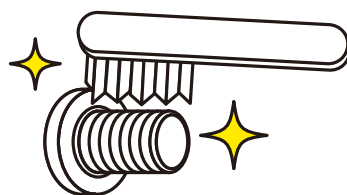
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



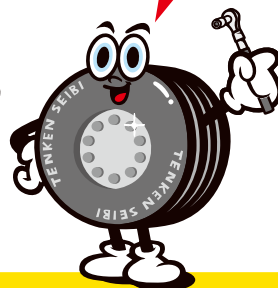
ナットとワッシャーとの隙間への注油を忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!



ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの履き替え	ボルト交換
ホイールナット使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの締め付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

